



母子生活支援施設

室見寮だより

令和3年6月発行
室見寮/堀川・岩崎



早良区小田部6丁目12-4

新型コロナウイルス感染拡大から人々の生活が変化し1年経過…早々に梅雨が始まりました。

失業や雇用情勢悪化で苦しい生活を余儀なくされている方々が大勢いる中、もともと弱い立場にある母子家庭においては、経済的に一層厳しい状況にあり、更にはDV、児童虐待の深刻化もあいまっています。

様々な家庭状況を抱えた母子に対し、母子生活支援施設は「母と子が共に生活しながら支援を受けることができる唯一の社会的養護施設」として安心安全な生活環境のもと自立に向け、入所から退所、アフターケアを含む継続的な支援を提供できる有力な社会資源です。

今まで以上に福祉事務所をはじめ各関係機関の皆様方と手を取り合って、包括的に取り組んで参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

《学習室…始業式に昼食会しました！》

今年は、4月7日(水)に始業式がありました。

例年は始業式前に朝食会を行ないますが、今年は始業式後の子ども達にお昼ご飯を提供することで、母親の負担の軽減と、新しい気持ちで子ども達がクラスに臨める事を目的としました。

メニューはロールパンサンドに…。職員があらかじめ準備し、ロールパンに好きな具材を挟んで食べるバイキング形式にしました。もちろん消毒、検温、仕切りを使用するなど密を避けるための工夫も行なっています。

帰ってきた子ども達は「〇〇さんと同じクラスになった！」「△△先生のクラス！嬉しい。」などと新しい学年を迎えた喜びの気持ちいっぱいでした。何より参加率が非常に多く、子ども達がとても楽しみにしていたというのが分かりました。



～さくらんぼ園の食育～

乾燥してある食材を水に戻すとどうなるか、変化する様子を体験しました。準備したものは、乾燥ワカメ、干しシイタケなど、どれも給食で食べている身近な食べ物ばかりです。干しシイタケを見て「傘みたいーい。」と表現したり、高野豆腐を手にとってみると、カチカチ音を鳴らして遊んでいます。乾物に水を入れて、食材の形が変化していくと…「柔らかい。」「いいにおい。」「大きくなっている～」と違いに気付いて、反応を見せてくれました。

子ども達は遊びの中で沢山の感覚情報を得ます。気持ちの安定、運動の発達、手先の器用さ、自尊心を育てる事に繋がります。食育から広がる遊びの大切さを学んだ一日でした。



生活や育児で困りごとはありませんか。室見寮には保育士・社会福祉士・心理士等の資格を持った職員が勤務しています。地域の皆様からのご相談も受け付けています。

